デトロイト日本商工会月刊会報
Views
12
2017
Issue 285

デトロイト美術館 日本ギャラリー開設公開・Japan Cultural Days 成功裏に終わる

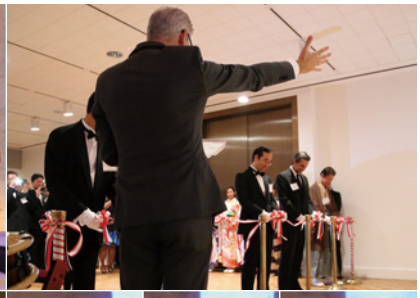
11月4日、日本ギャラリーがついに公開されました。

11月4日のデトロイト美術館日本ギャラリー一般公開と、4日・5日の両日に亘ってJBSDとデトロイト美術館が共催で実施したJCDイベントは、多くの会員の方も楽しまれたことと思います。デトロイト美術館の入館には、窓口での居住郡の確認などを行いますので、コンピュータには何人の確認を行ったかデータが残ります。同館から後日お聞きした結果は、4日・5日の累計入館者は7,000人であったとのことです。但し、JBSDから会員に事前にお送りしたチケットを見せた方は窓口に並ぶことなく、セキュリティーを直接通って入館されましたので、これらの入館者は含まれていません。従い2日間で7,000人以上の方が、日本ギャラリーとJCDイベントを楽しまれたことになり、非常に成功したイベントだったと言えるのではないでしょうか。

大イベントの詳細をご紹介するのは無理なので、デトロイト美術館の6会場全てを使って行われたJCDイベントの項目だけをご紹介します。まず、グレート・ホールでは、てぬぐい、木彫、染色、陶芸、市松人形、小原和紙の各師匠をお招きして、各ブースを設置。一流の「ものづくり」技術に裏打ちされた本物の匠の技を実演していただき、また事前予約をした方は、ラーニング・センターで体験もできるワークショップも開催していただきました。グレート・ホールと繋がっているリベラ・コートでは、豊田市から来ていただいた無形文化財「棒の手」保存会の皆さんによる実演が行われ、別の時間帯には日本からお招きした日本

2–3ページに続く ▶

11月2日に行われた日本ギャラリーオープニング式典・レセプション



鏡開き後は豊田市市長 太田氏による乾杯のご挨拶

11月2日、日本ギャラリー公開にあたり、藤田JBSD会長、ガガーロ DIA理事長、和田 在デトロイト日本国総領事、ポンズDIA館長、大光JCD委員長によるテープカットが行われました。

レセプションでのご挨拶

上段（左から）:
- ガーガロDIA理事長
- 和田 総領事
- スナイダー ミシガン州知事

下段（左から）:
- 池永 滋賀県副知事
- 藤田 JBSD会長
- 大光 JCD委員長

© 2017 JBSD. All rights reserved. 12-17 Designed by JT&D. Opinions expressed here are those of the authors and do not necessarily reflect those of the JBSD.

2日に行われた日本ギャラリーオープニング式典では、ボランティアの皆さんが振袖姿でゲストをお迎えし、お神輿も法被姿の頼もしい若者達が運び役を務めてくれました。

舞踊グループ「菊の会」による阿波踊り、獅子舞などが披露され、全てのプログラムが、入りきらないほどの観客で埋まりました。また「菊の会」は、オーディトリアムで華やかな伝統舞踊、着付け体験などを披露され、観客を釘付けにしました。さらにレクチャー・ホールでは師匠の講演も行われ、多くの方の関心を集めていました。クレスギーコートでは、東京からお招きした二人の和菓子職人による、手作り和菓子の参加型実演が行われ、滋賀県からの近江茶の紹介・試飲と合わせて、こちらも来場者で溢れていました。今回JBSDとデトロイト美術館が初めての共催イベントで大きな成功を収めることができた大きな要因のひとつは、会員企業をはじめとする多くのJBSD会員からいただいた多額のご寄付に加えて、影でイベントを支えてくださった約150人のJBSD会員を中心とするボランティアの方々です。本当に有難うございました。

最後に2日で7,000人以上という入場者数を改めて見ると、多くの地元の人々が日本と日本文化に対するご興味とご理解を持っていただいているのだなと感じます。

（JBSD事務局）

11月4日（土）・5日（日）JAPAN CULTURAL DAYS写真集

デトロイト美術館には二日間にわたり多くの方が来場し、日本美術、匠の技を存分に楽しまれました。ご家族連れの方も多く、子ども達も目の前の匠の技に目を輝かせていました。

GreatHallは両日とも多くの方で賑わっていました。

▲総領事ご夫妻と藤田JBSD会長

◀当日は多くのJBSD企業・学生ボランティアの皆さんが大変熱心にお手伝いしてくださいました！

舞踊集団 菊の会による日本の踊りや、愛知県無形文化財の棒の手披露は大盛況でした。

大人気の和菓子実演コーナーや近江茶の試 飲は大勢の人々で賑わいました。

モダンなデザインの茶室も来場者の目を引いていました。▲

当日は師匠方による体験クラスも行われ、地元の方々が大勢参加されました。

匠の技を目の前でじっくりと見せていただきました。

作品: 市松人形の匠 藤村光環氏の作品「招福童子」▶

在デトロイト日本国総領事館提供によるトピックス

総領事館近況報告

10月19日、和田総領事は、アレックス・ハラ（原伸郎）氏に対し、同氏の日米両国の相互理解と友好親善に敬意を表して総領事表彰を授与しました。

ハラ氏は、オハイオ州南西部のデイトン地域において、「オペレーション1000チェリーツリー計画」という桜植樹プロジェクトを進めており、この度ついに1000本目の植樹が達成されました。この植樹プロジェクトは、東日本大震災時に、多くの市民が義援金を寄付したことや同地域に所在するライト・パターソン米空軍基地から多くの救援物資が輸送されたことに対して、日本からの感謝を表すために同氏が中心となって始められたものです。

当日は、タフト元オハイオ州知事などオハイオ州内から多くの方が駆けつけ、1000本目の植樹を見守るとともに、次の1000本を目指した1001本目の植樹も合わせてなされ、非常に盛り上がった記念式典となりました。

また、ハラ氏は、オハイオ西部日本語補習校の設立・運営にも携わるなど長きにわたり、デイトン地域の日系コミュニティのために尽力されています。

同プロジェクトの詳細については以下のウェブサイトをご覧ください。
www.operation1000cherrytrees.com

表彰の様子：ハラ氏（中央）と和田総領事（右）

植樹の様子

2017年度 領事・旅券手数料　（2017年4月1日－2018年3月31日までの料金）

- 外貨貨幣換算率の改定に伴い、2017年4月1日から領事・旅券手数料は以下のとおりとなりました。なお、領事・旅券手数料は毎年4月1日に改定されます。
- 手数料は、受領時にお支払いください。パーソナルチェック、クレジットカードはご利用いただけませんのでご了承ください。
- お釣りのないようにご準備をお願いいたします。

1. 旅券

① 一般旅券（10年有効）…… US $145.00
② 一般旅券（5年有効：12歳以上）…… US $100.00
③ 一般旅券（5年有効：12歳未満）…… US $55.00
④ 一般旅券の記載事項変更旅券…… US $55.00
⑤ 一般旅券の査証欄の増補 …… US $23.00
⑥ 渡航書の発給 …… US $23.00

2. 証明

① 在留証明 …… US $11.00
② 出生・婚姻・死亡等身分上の事項に関する証明（英文）…… US $11.00
③ 翻訳証明 …… US $40.00
④ 署名証明（官公署に係わるものを除く）…… US $15.00
⑤ 運転免許証抜粋証明 …… US $19.00
⑥ 旅券所持証明 …… US $19.00

3. 査証

① 一般入国査証 …… US $27.00
② 数次入国査証 …… US $55.00
③ 通過入国査証 …… US $6.00
※①～③は、査証申請人の国籍によって異なる場合があります。
④ 再入国の許可の有効期間の延長 …… US $27.00

■ お知らせ ■

Facebookで、当館の活動紹介のほか、日本関連情報やミシガン/オハイオ州の耳寄り情報も発信していますので、是非「いいね！」をお願い致します。
Facebook ページ ▶ www.facebook.com/cgj.detroit

在留邦人の皆様に有益と思われる情報や各種お知らせをメールでお送りするメールマガジンを配信していますので、是非ご登録ください。
詳細はこちら ▶ www.detroit.us.emb-japan.go.jp/jp/newsletter

旅行や海外出張される場合は、是非、「たびレジ」に登録を！！
旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受け取れるシステムです。
詳細はこちら ▶ www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg

四半期毎にミシガン州とオハイオ州内の治安情勢を掲載しています。在留邦人の皆様が多く居住する地域における犯罪発生件数や最近の犯罪傾向などを掲載していますので、ご確認をお願い致します。
詳細は当館ホームページ、生活・安全情報内の「海外安全対策情報」をご確認ください。
生活・安全情報 ▶ www.detroit.us.emb-japan.go.jp/jp/life/safety.htm

234回 リレー随筆

せっかくなので、英語を楽しみましょう

Nitto Automotive, Inc.
ヒッキー・マルタ

アメリカに引っ越してくると、面白く、新しい経験がたくさんできます。特にミシガン州ではきれいな自然に囲まれて外の遊びが多くて、人々が親切で、ゆっくりな生活を楽しめます。ただし、違う国からきて、生活で慣れなければならないこともたくさんあります。その中で、日本人ビジネスマンにとっても、奥様達にとっても、英語を使って生活するのは、日本とちがって大変なところもあるのではないでしょうか。

私自身は、子供の頃からアジアに興味を持っていて、中学生の頃から日本語を勉強してきました。まず趣味として独学で勉強した日本語が、日本文化と共に興味深くなって、日本に住んだ経験もできました。今アメリカで日本の会社に勤めていて、未だ日本について勉強するのを楽しんでいます。この経験をして、語学は本当に価値がある投資だと思って、語学を長く楽しむためのいくつかの考えをシェアしたいと思います。

言語のおかげで楽しい思い出がたくさんできたと言っても、語学は難しいところがないとは言えません。「アメリカ人の英語が速くてよく聞き取れない」や「言いたいことが言えない」などよく聞きます。これは、言葉の問題というだけではなく、あまり意識されないのですが、勉強は精神的な面もあるということです。コミュニケーションについての考え方や語学に対しての態度が勉強の進歩に影響を与えるということです。実は、とても大事なのです。

まず、「言葉の知識≠コミュニケーション」です。英語で上手に会話できない人はよく言葉の知識が足りないと思ってしまいます。「単語をもっと分かったら、もっと話せたのに」という考え方です。したがって、会話がスムーズにいかない責任は自分だけにあると思って、負担を感じてしまいます。そこで、会話は単語や文法の知識だけではないと強調したいです。もちろん、単語をたくさん覚えていると役に立ちますが、考えてみたら、簡単な言葉でも、会話はできるのではないでしょうか。それより、人々の文化の背景、性格、年齢と態度が会話に大きな影響を与えます。この様々な違いを乗り越えて、相手が伝えたいことを分かろうとすること、伝えたいことを分かってもらおうとすること、これを協力しあうことが「コミュニケーション」です。

次に、「恥ずかしがらないで話すのを頑張る」のが重要です。知っている単語は限られていても、頑張ることがとても大事です。なぜかというと、言葉を使おうともしないと、忘れていくからです。日本人はよく言葉を間違えるのが恥ずかしいですが、その考えは自分の成長を阻んでしまいます。また、間違えることを怖がる必要もないと思います。まず、最初から完璧に話せる人がほとんどいないので、非現実的な基準ではないでしょうか。だいたい誰でも片言から始めて、間違えるのが普通です。それから、第二言語で話すとき、相手が最初から完璧に話してくれることも期待していません。その二つを意識して、自分に対してもっと余裕を持つことができれば、成長がはやくなります。つまり、「完璧に話せる」目標に一番早く近づく方法です。私は日本でアルバイトしたとき、「給料」を間違えて、同僚に「いつ恐竜をもらうの」と聞いたことがあります。皆で笑って、それ以来両方よく区別するようになりました。

オランダ出身ですが、アメリカに引っ越した時は食べ物の量にビックリしました。

三つ目は、「自分の勉強のスタイルをみつける」です。人々は、それぞれ得意・不得意があります。語学でもそうです。人によって、新しい情報を得る方法は様々で、ある人は聞くことで、またある人は見ること、読み上げること、書くことで物事を覚えます。また、英語を勉強する時に、その人が脳の左側を使うか右側を使うかでも、最も効果的な勉強の仕方が違います。つまり、友達がアメリカのテレビを耳にすることで勉強になっていても、自分は雑誌を読んだほうが単語が覚えやすいかもしれません。自分を他の人と比べないように、自分に一番楽な方法で勉強すればよいと思います。

最後にポイントなのは、「勉強を楽しむ」ことです。どのような勉強でも、嫌がっているとストレスになって、長く続けるのが難しいです。私も日本語を勉強するときに、教科書だけに頼らないで、気楽に日本のテレビを見たり、日本語のレシピを読んだりしています。まだ試したことがなければ、前からある趣味と組み合わせてみればいい発見があるかもしれません。

語学の生徒と言葉の教師としての経験に基づいた短い文章でしたが、誰かのアドバイスになればと思います。せっかくのアメリカですので、色々な思い出をつくりながら、英語を楽しく使っていきましょう。

獣医さんのおはなし 最終回

ペットの最期について

獣医　中村　綾香

私は2015年頃からViewsでペットの健康についてのお話を書かせていただいてきましたが、この度他州に引っ越したため、これを最後の寄稿とさせていただきます。今までお読みいただきありがとうございました。

最後に、ペットを飼うにあたって避けて通れない、ペットの最期についてのお話をしたいと思います。ペットを飼うとき誰でも一番心配なのは、ペットが重傷を負ったり大病を患ったり、手の施しようがない状態になった時、治療・緩和ケアをするか、それとも安楽死を選ぶかというつらい選択肢を迫られることだと思います。

ペットの最期についての選択は、私がアメリカで教育を受けアメリカで働く日本人の獣医として、一番日本とアメリカの違いを大きく感じるところです。両方の飼い主さん達に共通しているところは、ペットを家族同然に愛し、ペットにとってベストな選択をしてあげたいという気持ちです。しかし、もちろん一概には言えませんし、どちらが正しいという話ではありませんが、安楽死への考え方には違いがあると感じます。

アメリカ人の飼い主さんと接していると、ペットが重体になった時第一に考えるのは、クオリティオブライフ(生活の質)であることが多いように感じます。私がそれを顕著に感じたのは、まだ獣医学生だった頃、救急科での研修中の出来事です。まだ若い、ハスキーの雑種（真っ白な毛並みで、アメリカで売られている漂白剤と同じ名前でした）が交通事故に遭い後ろ足を両方複雑骨折してしまい、手術、リハビリが成功しても前と同じようには走れ回れない、という状態になってしまったことがありました。飼い主さんは、走り回るのが大好きでそれが生きがいのような犬だから、もし治療をしたとしても質の良い生活は送れない、と懸念して、安楽死を選びました。

その他にも、末期の癌や腎臓病など、治る見込みがない容体になった場合、安楽死を選ぶ飼い主さんが多いと感じます。ペットが弱っていく姿を見たくない、ペットを苦しみから救ってあげたい、という声をよく聞きます。“Humane euthanasia（人道的な、または慈悲深い安楽死）”という言い方をしますが、安楽死は苦しみを取り除いてあげる術という考え方です。

一方、私が接した日本人の飼い主さんや、日本で獣医をやっている友人の話などを聞くと、日本人の飼い主さんは、ペットが病気になっても最後までお世話をして、天命を全うさせてあげたい、という方が多いように感じます。例えば、末期がんと診断され、余命数か月という宣告を受けたわんちゃんのために、すすめられた治療をすべて行い、家で手厚い介護をし、家で最期を看取ったご家族の話を友人から聞きました。最期を看取ることが飼い主としての責任である、という考え方が多いと感じます。

私の家族の場合、渡米してから初めて飼った犬（ボーダーコリーの雑種のメス、名前はポチでした）が12才になったころ、首元に腫瘍ができ、みるみる大きくなっていきました。腫瘍科のスペシャリストに診てもらったりしましたが、数か月の余命宣告をされ、場所が場所だけに完全に腫瘍を取り除くことはできないといわれました。そのうち腫瘍が更に大きくなり喉が圧迫され、普通にご飯を食べることができなくなっていました。私たちは家族で話し合って、安楽死を選択し、病院でポチの最期を看取りました。

安楽死を選ぶ前も、選んだ後も、本当にこれでよかったのかとても悩みました。安楽死で、痛みや苦しみを取り除いてあげることができた、という気持ちの反面、ポチはまだ生きたかったかも、もう少し一緒にいれたかも、という考えに悩まされました。私の中で決定打になったのは、ポチがもうご飯を食べられなくなった事でした。動物にとってご飯が食べられないというのは、クオリティオブライフを大きく影響するものと感じ、安楽死に踏み切りました。

国籍に限らず、安楽死を選んだ飼い主さんは同じように悩むことがあるでしょうし、逆に選ばなかった飼い主さんも悩むことがあると思います。とても難しい決断ですが、明確な正解はないと思います。かかりつけの獣医さんとも相談して、ペットのクオリティオブライフはどうか、生きる喜びと病の苦しみ、どちらが大きい状態か、どこまで必要なケアしてあげられるかなど、ペットのことを知っている飼い主さんが一番よく分かると思います。飼い主さんがペットのためを思ってした決断なら、間違っているものはないと思います。

ペットの最期は飼い主さんの苦悩や悲しみを深く感じるつらい場面ですが、ヒューマン・アニマル・ボンド（人と動物の絆）の尊さを最も強く感じる場でもあります。ペットと築く絆、ペットとおくる暮らしは、かけがえのないものだと改めて感じます。

これで最後となりますが、皆様とペット達のご健康と幸せを祈っています。

3年にわたり、ペットについての情報をViews読者のためにご寄稿くださいました。中村綾香先生、ありがとうございました。今後の更なるご活躍を祈念しております。（Views編集局）

イベント情報

注：掲載のイベント情報に関しては、内容が変更される場合がありますので、必ずイベント主催者に確認して下さい。
また、掲載している内容に関し、いかなるトラブルが生じても、JBSDは一切責任を負いませんので予めご了承下さい。

特別イベント

グリーンフィールドビレッジ ホリデーナイト
Holiday Nights in Greenfield Village
Greenfield Village, Dearborn
12月1日(金)–3日(日)
12月8日(金)–10日(日)
12月15日(金)–17日(日)
12月19日(火)–23日(土)
12月26日(火)–27日(水)
12月29日(金)–30日(土)
6:30pm–10:00pm (雨天決行)
料金: 大人 (12–61歳) $26
シニア (62歳以上) $23.50
ユース (3–11歳) $19.50
2歳以下無料
駐車 $6/台
問合わせ: 313-982-6001
www.thehenryford.org
クリスマスカードの中に迷い込んだかのような園内はキャンドルが灯され、サンタやトナカイにも会える。アイススケートリンクも設置されているほかフィナーレには花火も。

ホリデーウォーク @ メドウ・ブルック・ホール
Holiday Walk at Meadow Brook Hall
Meadow Brook Hall , Rochester
12月23日 (土) まで 開催中
11:00am–5:00pm
(11日・18日–23日はライトアップを楽しめるイブニング・ツアーも)
料金: 大人 $20
17歳以下 $7.50
問合わせ: 248-364-6200
www.meadowbrookhall.org
自動車生産会社DodgeBrothersの創設者ジョン・ダッジの元妻マチルダ・ダッジが後に建てたチューダー様式の大邸宅。この時期はクリスマスの装飾が施され豪華ホリデー邸宅ツアーが人気。

ホリデーステージ

アナーバー・シンフォニー・オーケストラ ホリデー・ポップコンサート
Ann Arbor Symphony Orchestra Holiday Pops Concert
Hill Auditorium, Ann Arbor
12月15日 (金) 8:00pm
問合わせ: 734-994-4801
www.a2so.com

デトロイト・シンフォニー・オーケストラ ホリデーコンサート
Home for the Holidays
Detroit Symphony Orchestra, Detroit
12月15日(金)–17日(日)
金: 10:45am・8:00pm
土: 3:00pm・8:00pm
日: 3:00pm・7:00pm
料金: $38–$115
問合わせ: 313-576-5111
www.detroitsymphony.com

マンハイム・スチームローラー・クリスマス
Mannheim Steamroller Christmas
Fox Theatre, Detroit
12月16日 (土) 7:30pm
料金 $26–$87
問合わせ: 313-471-6611
http://olympiaentertainment.com

「くるみ割り人形」
Ballet 'The Nutcracker'
ホリデーシーズンを華やかに飾る冬の風物詩、チャイコフスキー3大バレエのひとつ「くるみ割り人形」公演が各地で始まります

アカデミー・オブ・ロシアン・クラシカル・バレエ「くるみ割り人形」(全2公演)
Academy of Russian Classical Ballet The Nutcracker
第1公演
Brighton High School (Brighton Center for the Performing Arts)
12月2日 (土) 6:30pm
料金: $25
http://app.arts-people.com/index.php?ticketing=bcpa
第2公演
Ann Arbor Michigan Theater
12月9日 (土) 6:30pm
料金: $35～
www1.ticketmaster.com/event/08005335D1CA3C47
問合わせ: arcbmichiganjpn@gmail.com(日本語)
本場ロシアのプロダンサーが主演

ローズ・マリー・フロイド コンテンポラリー・シビックバレエ団
Rose Marie Floyd Contemporary Civic Ballet
Troy High School
4777 Northfield Plwy. Troy, MI
12月16日 (土)・17日 (日) 2:00 pm
料金: 前売り大人 (18歳以上) $20
子ども $15
問合わせ: 248-546-7484 (チケット)
rosemariefloyd.com
tmbballet.com

モスクワバレエ団グレイトロシアン
Moscow Ballet's Great Russian Nutcracker
Fox Theater, Detroit
12月17日 (日) 12:00pm・4:00pm・8:00pm
料金: $28–$122
問合わせ: 800-745-3000
http://olympiaentertainment.com

編集委員の独り言

娘が生まれて早1年10ヶ月。ついこの前、寝返りをうてたと喜んでいたら、今や走り回るし、いたずらはするし、駄々はこねるしとやんちゃ真っ盛り。

私が帰宅すると笑顔で迎えてくれる娘に対して、妻はぐったり顔…。妻が「お父ちゃん帰ってきたから遊んでもらいな」と娘に言うものの、裏を返せば「ここからは一人にさせて」と私に言っているわけで…本格的に冬が到来すると妻の「ぐったり」が一層増しそうなので、妻の負担を減らそうと子供が室内で遊べる場所を探しました。

Farmington のJangle Javaは大きなジャングルジムで思いっきり身体を動かせます。しかも手頃な価格で時間無制限。Ann ArborのHands on Museumは見て触って体感し、科学を遊びながら学べて、しかも大人も一緒に楽しめる。その他、Tiny Town Play Lounge (Plymouth) やFarmington Gymnastics Centerもお薦め。中でも一番のお薦めはLife TimeのChildcare。月会費はそれなりですが、子供を預けて気ままに運動できるし、カフェでゆっくりした時間を過ごすのもOK。

妻の為と言いながらも、全ては私自身の為なんですが。Happy Wife, Happy Life.

S.M.

デトロイトりんご会補習授業校 **講師募集中！**

デトロイトりんご会補習授業校では、明るく元気で子供大好き、やる気溢れる講師を募集しています。
詳細は**www.jsd.org/teacherwanted**をご覧ください。
※QRコード読み取り可能な携帯電話で左記コードを読み取ると
りんご会ウェブサイトへジャンプします

Japan Business Society of Detroit
42400 Grand River Ave.,
Suite 202, Novi, MI 48375

家族で読むViews

今月のトピック

- DIA Japan Gallery Opening/ Japan Cultural Days 報告 1-3
- リレー随筆: せっかくなので、英語を楽しみましょう 5
- 獣医さんのおはなし最終回 6

Views views@jbsd.org(編集部)

Views 関連連絡先: 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしていますのでお気軽にお寄せ下さい。
投稿も大歓迎です。

www.jbsd.orgでもViewsをご覧いただけます。

今後のJBSD行事予定

December 12月

青年委員会主催

Michigan Brewery Tour
日　時: 12月3日(日)
場　所: Kalamazoo, Grand Rapids
募　集: 50名

Coming Up!

2018年JBSD新年会
日　時: 1月28日(日) 12:30pm–4:00pm
場　所: Suburban Collection Showplace
参加対象: JBSD法人会員社員・個人会員・ウィメンズクラブ・りんご会・それら会員家族と会員同伴者
料　金: $70(21歳以上)/$60(21歳未満) チャイルドケア無料(定員50名)
締め切り: 第1次申込締め切り 12月29日(金)

お申し込みについてはJBSD事務局ウェブサイト(jbsd.org)をご確認ください

事務局長だより

JBSDはJBSD基金を通して25年の間、地元への貢献をしてきています。具体的には、日本への体験留学を希望する当地の大学生、高校生への奨学金を供与することと、当地で設立され活動を行う約50の非営利団体・機関へのグラント・アワードによる寄付です。グラントアワードは25年の長い間、毎年継続してきた結果、2017年での累計額は200百万ドルに達しました。具体的な寄付の先としては、日本人師弟が通う学校・学校区、日本語教育プロジェクトを実行する学校、姉妹都市交流を推進している市、社会への貢献活動を推進する各種団体などです。

グラントアワードの選考基準のひとつの要素として、日本との相互理解と親交を深めるのに役立っているかという点があります。現在グラントを供与している例としては、日本語クイズボールの運営、日本学生会の比較文化活動、市が積極的に行っているプログラムでは、高校生の交換留学、ESLの拡充、また各種団体のプログラムの中ではホストファミリーの交換による高校生の交換留学促進などがあります。若い世代の初めての海外留学は、大きなインパクトがあるに違いありませんが、ユニークな日本文化の体験は、きっと日本ファンを増やしてくれることと思います。筆者の独断ですが、オークランド・カウンティの“Sakura Garden”建設や、ノバイ市の日本への温かい目は、過去25年に亘って先輩方が進めてこられた、地元貢献活動の賜物だと思います。

Sakura Gardenの完成が楽しみです。